

第7次高松市行財政改革計画

～信頼と活力に満ちた市役所を目指して～

平成28～令和元年度実績報告書

令和2年8月

目 次

I 総 論

- 1 第7次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制
- 2 目標値と実績値
 - (1) 重点取組
 - (2) 財政指標
 - (3) 目標効果額と実績効果額
- 3 計画に変更のあった実施項目等
 - (1) 計画に追加した実施項目
 - (2) 中止とした実施項目（単年度の中止は含まない）

II 各 論

- 1 局進行管理
 - (1) 令和元年度取組状況（局別）
 - (2) 令和元年度目標達成度（局別）
 - (3) 効果額（局別）
- 2 局進行管理体制
- 3 プロジェクト進行管理体制
- 4 【参考】外部評価等による事業の見直し状況

I 総論

1 第7次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制

第7次高松市行財政改革計画（平成28年4月策定）

《計画期間》平成28～令和元年度（4年間）

4つの取組方針

推進体制

重点取組



業務の総点検

プロジェクトチームによる
局を越えて連携した取組

局による主体的な進行管理

局による主体的な進行管理

局による主体的な進行管理

プロジェクトチームによる
局を越えて連携した取組

2 目標値と実績値

(1) 重点取組

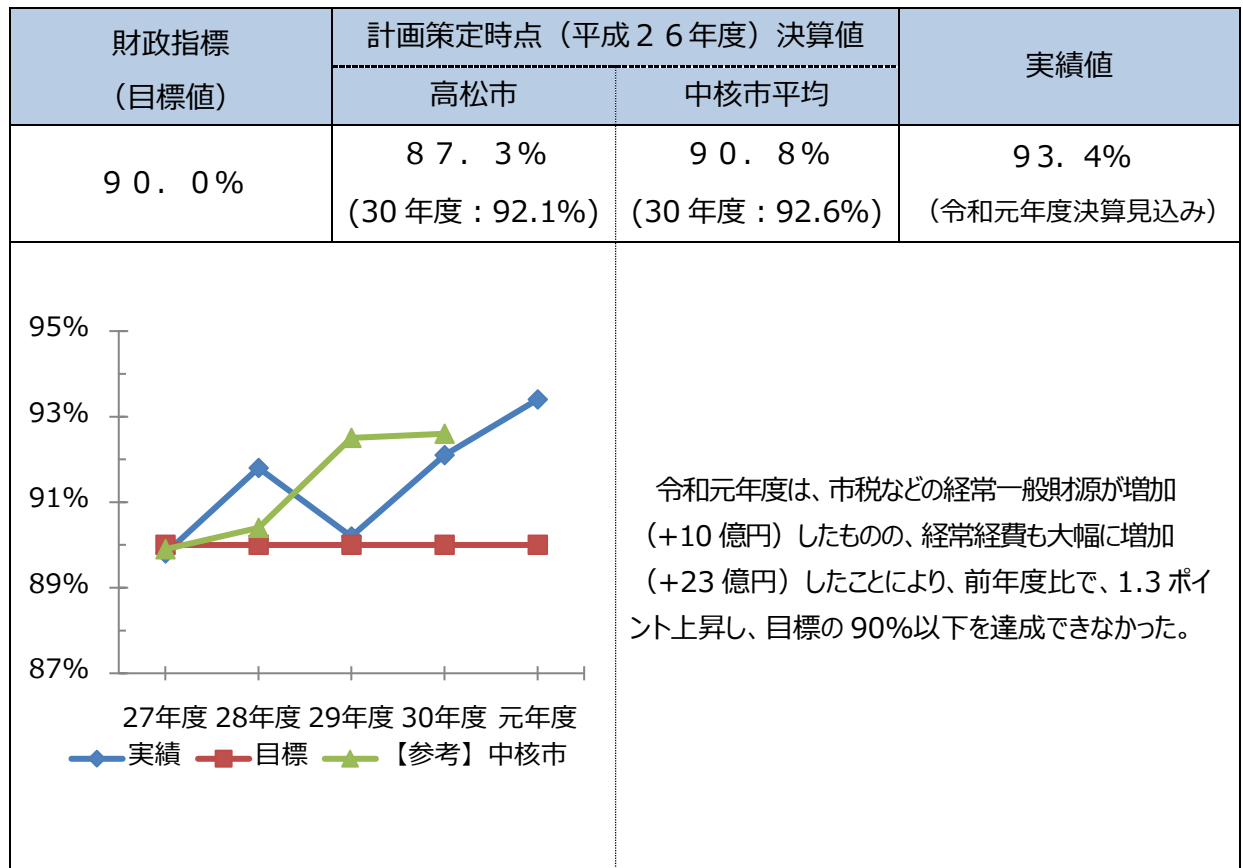
○ 信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

指 標	計画策定時点 (平成26年度)	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	目標値
市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	85.1%	91.6%	90.2%	87.9%	92.5%	100%
市民サービスアンケート（集中実施）における満足度	92.9%	96.6%	98.0%	98.0%	98.0%	100%

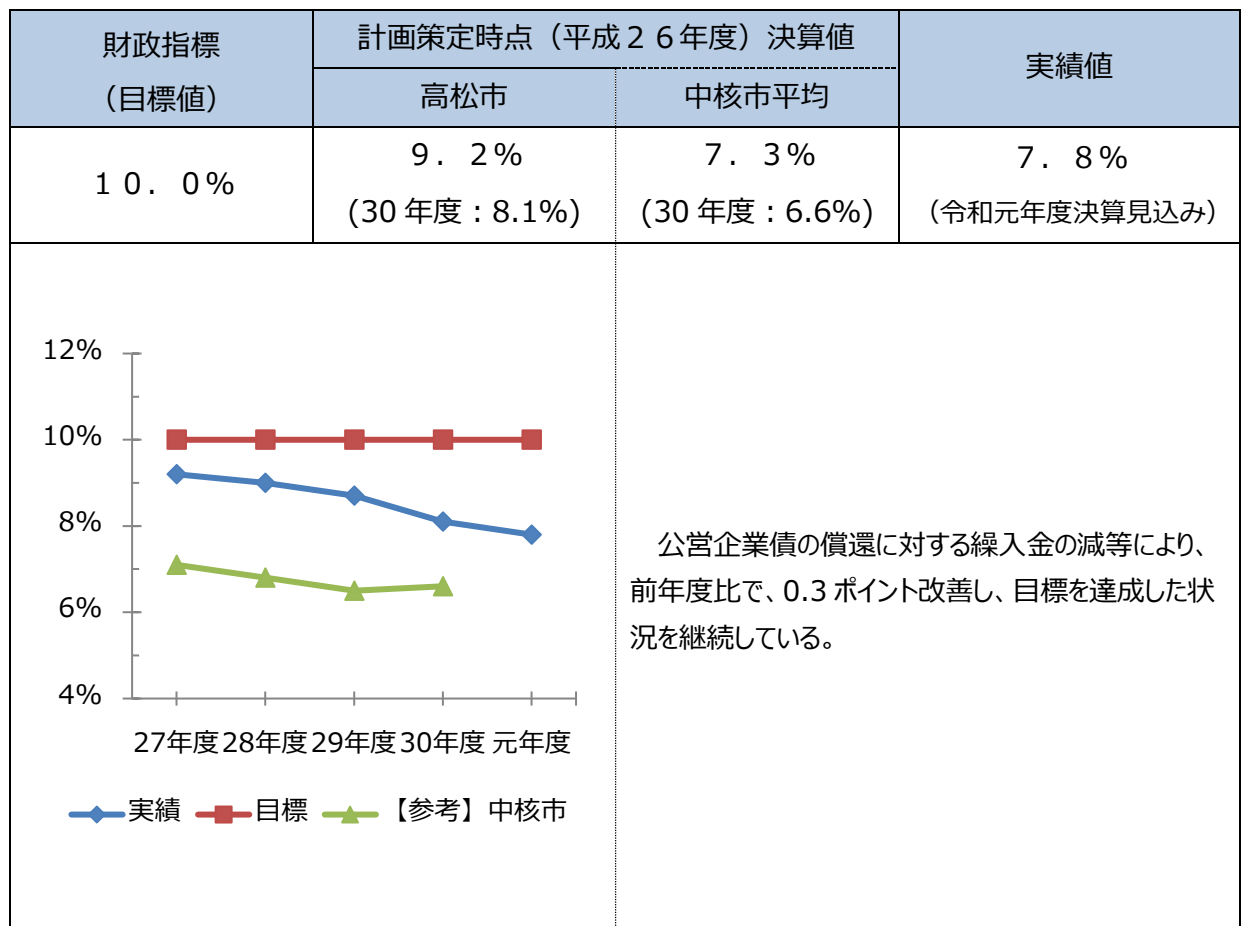
「市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合」は、平成30年度と比較し、4.6ポイント増加した。
「市民サービスアンケート（集中実施）における満足度」は、平成30年度と同じく98ポイントであった。
次期計画においても、コンプライアンスの推進を全局共通取組項目とし、目標達成に向けて、全庁を挙げて継続して取り組んでいくこととする。

(2) 財政指標

ア 経常収支比率（低い方が望ましい指標）



イ 実質公債費比率（低い方が望ましい指標）



(3) 目標効果額と実績効果額

- 計画期間内に実施する取組における期待される効果額

約7億8千万円

(千円)

目標効果額	28年度	29年度	30年度	令和元年度	累計額
歳入	11,133	34,107	55,654	65,755	166,649
歳出	98,998	128,972	175,793	213,339	617,102
効果額 (単年度)	110,131	163,079	231,447	279,094	783,751
効果額 (累積)	—	273,210	504,657	783,751	

(千円)

実績効果額	28年度	29年度	30年度	令和元年度	累計額
歳入	59,247	103,032	120,410	205,663	488,352
歳出	115,354	223,614	238,910	294,202	872,080
効果額 (単年度)	174,601	326,646	359,320	499,865	1,360,432
効果額 (累積)	—	501,247	860,567	1,360,432	

(注) 水道事業を香川県広域水道企業団へ移管したことに伴い、30年度以降は目標効果額、実績効果額ともに、水道事業に関する効果額を除いている。

○ 取組項目ごとの内訳（平成 28～令和元年度効果額）

取組項目	実 施 項目数	効果額（千円）		達成度
		目 標	実 績	
1 信頼される職員の育成と質の高いサービスの提供	重点取組			
(1) コンプライアンスの徹底	1	—	—	
(全局共通取組項目)「コンプライアンス推進施策」の実施				
(2) 職員の意識改革、能力向上	5	—	—	
(全局共通取組項目) 職位ごとに求められる責任、役割の認識				
(全局共通取組項目) 専門性の維持、向上				
(全局共通取組項目) 技術継承の推進				
(3) 組織の活性化	3	—	—	
(全局共通取組項目) 人事評価制度の適正な運用				
(全局共通取組項目)「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備				
(4) 仕事の進め方の見直し	2	—	—	
(全局共通取組項目) 各課における「業務マニュアル」の見直し				
2 持続可能な財政運営の推進				
(1) 自主財源の確保	15	230,847	611,716	265.0
(2) ファシリティマネジメントの推進	10	55,384	319,560	572.3
(3) 定員・給与の適正化	3	45,800	0	0
(4) 社会保障費の抑制	8	348,580	295,091	84.7
3 成果を重視した行政運営の推進				
(1) 事務事業の改革	24	75,847	56,102	74.0
(2) 業務の委託化・民間活力の導入	4	9,196	4,610	50.1
(3) 最適な行政サービスの提供	17	16,307	72,926	447.2
(4) 施設の効率的運営・利用率向上	7	1,340	427	31.9
4 参画と協働によるまちづくりの推進				
(1) 市民の市政参画意識の醸成と協働の取組	11	—	—	
(2) 職員の協働意識の向上	2	—	—	
(3) 市政の見える化	1	—	—	
合 計	113	783,751	1,360,432	173.6

(注) 実施項目数及び効果額は、28 年度からの累計であるため、28・29 年度の水道事業、計画期間中に中止した事業の実施項目数・効果額を含む。

3 計画に変更のあった実施項目等

(1) 計画に追加した実施項目

分類番号	2 - (2) (ファシリティマネジメントの推進)		担当所属	環境局 環境施設対策課
実施項目	公衆便所管理等事業			
実施内容 (概 要)	【平成 28 年度外部評価対象事業】 公衆衛生の観点から、市民並びに来訪者の需要に応えるために設置している公衆便所については、適正な管理を行うとともに、周辺状況の変化に則し、市民トイレの廃止を行うなど経費の削減に努めてきたところである。 「改善」の判定を受けたことから、個々の便所について周辺状況や利用状況を調査し、必要性を取りまとめ、廃止できる便所を抽出し、関係者と協議を進める。 また、ネーミングライツ事業の導入の可能性を探るなど、新たな財源確保に努める。			
個別目標	平成 28 年度 栗林公園前公衆便所の清掃委託内容の見直しを行う。 平成 29 年度以降 ①公衆便所の周辺状況や利用状況の調査 ②個々の公衆便所の必要性を検討し、廃止できる便所の抽出 ③関係者と協議 ④ネーミングライツ事業の導入の可能性の検討			
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度	
	①～④の実施	③の実施	③の実施	

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)		担当所属	教育局 生涯学習課生涯学習センター
実施項目	コミュニティセンター講座等事業			
実施内容 (概 要)	【平成 28 年度外部評価対象事業】 現在、市内 5 2 コミュニティセンターにおいて、生涯学習に関する講座の開催を委託している。 生涯学習に関する地域のリーダー養成を重視するとともに、コミュニティの再生につながる事業となるよう、講座の開催方法や内容等について見直しを図っていく。			
個別目標	地域の生涯学習をコーディネートするキーパーソンを養成する「生涯学習コーディネーター養成講座」の受講者数を増加させる。 27 年度受講者数 464 人			
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度	
	480 人	490 人	500 人	

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)		担当所属 創造都市推進局 文化財課
実施項目	歴史資料館管理運営事業（ほか関連 4 事業）		
実施内容 (概 要)	【平成 28 年度外部評価対象事業】 ・ 歴史資料館管理運営事業 ・ 歴史資料館常設展事業 ・ 讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 ・ 香南歴史民俗郷土館管理運営事業 ・ 石の民俗資料館管理運営事業 集客力アップに向けた P R 方法等を見直す。		
個別目標	集客方法の調査、研究及び広報アドバイザー制度の活用等 P R 方法を見直す。		
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度
	4 館計 140,000 人	4 館計 140,000 人	4 館計 140,000 人

分類番号	3 - (2) (業務の委託化・民間活力の導入)		担当所属 教育局 中央図書館
実施項目	図書館運営事業（ほか関連 1 事業）		
実施内容 (概 要)	【平成 28 年度外部評価対象事業】 直営での運営体制を継続し、本市図書館協議会の意見を参考に、より効果的・効率的な事業運営を行う。 また、指定管理者制度導入等については、外部評価の結果を踏まえ、中・長期的な視点の中で、他都市の導入事例などを調査・研究し、慎重に、様々な面から導入の可能性を検討する。		
個別目標	より効果的・効率的な事業運営を行う。		
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度
	指定管理者制度等の導入可能性を検討	効率的な運営の検討・実施	効率的な運営の検討・実施

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)		担当所属 教育局 学校教育課
実施項目	教育資金支援事業		
実施内容 (概 要)	【平成 28 年度外部評価対象事業】 財政負担が増加しないように、経済的要件や給付月額を据え置き、その上で、成績要件については 29 年度奨学生より平均 3.1 以上から 3.5 以上に引き上げを行う。		
個別目標	支給対象者の増加が懸念されることから、財政負担が増加しないように成績要件などについて見直しを行う。		
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度
	成績要件の引上げの実施	推進	推進

分類番号	4 - (1) (市民の市政参画の醸成と協働の取組)	担当所属	市民政策局 男女共同参画・協働推進課
実施項目	男女共同参画社会推進事業		
実施内容 (概 要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 男女共同参画週間啓発行事・男女共同参画市民フェスティバル・男女共同参画推進懇談会の開催において、広報たかまつ、高松市ホームページ及び高松市商工会議所会報誌に掲載するほか、報道機関への情報提供、各地区のコミュニティセンター等への周知用チラシの設置や事業所へのチラシの郵送等を行う。また、Facebook 等の SNS を利用した効果的な周知を図っていくとともに、講演会終了後は、開催概要を講演者の了承を得てホームページに掲載する。 さらに、高松商工会議所に講演会募集のホームページへのリンクを依頼するとともに、より多くの民間団体等にも連携協力を呼びかける。		
個別目標	①Facebook 等の SNS を利用した周知 ②講演会終了後、開催概要を講演者の了承を得てホームページに掲載 ③講演会参加者募集のホームページへのリンクの依頼 ④高松商工会議所を始め、より多くの民間団体等への連携協力依頼		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	①、②、③、④	①、②、③、④	

分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	担当所属	健康福祉局 長寿福祉課
実施項目	高齢者福祉通信機器貸与等事業		
実施内容 (概 要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 「日常生活の不安や孤独感の解消できない方」については、既存事業のあんしん通報サービスが、緊急時だけでなく、高齢者が登録した方に対し、コールセンターを通じて自分に電話してもらうよう依頼できる両方の機能を有することなどから、新規の受付を中止する方向で実施する。		
個別目標	平成 29 年度で新規貸与は原則終了とする。		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	新規貸与は実施しない。	—	

分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	担当所属	健康福祉局 長寿福祉課
実施項目	高齢者住宅改造助成事業		
実施内容 (概 要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 所得制限の要件である「生計中心者の前年中の所得が 5 0 0 万円以下」を、「世帯全員が市民税非課税」へ変更する方向で検討する。		
個別目標	平成 30 年度から所得制限の要件を、世帯全員が市民税非課税に変更する。		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	所得制限の要件を、世帯全員が市民税非課税に変更する。	—	

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 農林水産課
実施項目	市民農園整備事業		
実施内容 (概 要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 市民農園の利用率が伸び悩んでいるが、各農園の利用率は開設場所の選考時において、ある程度予想できる要因もあることから、事業の対象とする市民農園の採択に係る審査基準を点数化するとともに、立地条件や集客見込みに重点を置き、利用者の見込める農園を採択する。		
個別目標	市民農園の利用率を向上させる。 市民農園の利用率 H 2 8 年度：85.4% 最終目標：90%（R 4 年度）		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	市民農園の利用率の目標 86%	市民農園の利用率の目標 87%	

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 観光交流課
実施項目	観光ボランティアガイド育成事業		
実施内容 (概 要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 若年層ガイドの育成を行うため、ガイドを行っている 3 か所（玉藻公園・屋島・サンポート高松）の各施設・スポットごとの募集や地元の学校との連携を働きかける等、募集方法や募集内容を見直す。 また、他の団体におけるガイドの待遇やインバウンド対応について確認するとともに、今後の通訳案内士の動向を踏まえ、協会の在り方を検討する。		
個別目標	<若年層ガイドの育成> ①ガイドエリア・ガイド内容の調査 ②ガイド用原稿及び説明資料の作成 ③地元の学校に働きかける。 <協会の在り方検討> ④他団体の現状調査 ⑤他団体の現状を踏まえ、協会の在り方を検討する。		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	①、②、③、④、⑤の実施	③、⑤を引き続き実施	

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 観光交流課
実施項目	観光団体育成事業		
実施内容 (概 要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 全団体に対して、目的や事業内容等について、ヒアリングを行い、事業の必要性を検討する。また、28 年度の決算における自主財源及び繰越金の合計額が事業費を上回る団体に対して、30 年度の補助を見送ることとする。 ただし、29 年度執行状況も勘案した上で判断する。 担当者が各団体に出向き、厳密な監査を行う。 竜桜公園の維持管理については、委託料としての支出についても併せて検討する。 ヒアリングの結果を踏まえ、各団体への補助の必要性を勘案しながら、補助金の使途、交付要件について基準を定める。		
個別目標	①団体の目的、事業内容、使途についてヒアリングを行い、補助の必要性を精査する。 ②精査の上、補助を必要としないと判断した団体について、平成30年度予算要求を行わない。 ③年度末に、担当者等による監査 ④使途、補助効果を検証の上、交付基準を作成 ⑤交付基準に基づき、予算要求 ⑥交付基準に基づいて運用		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	①、②、③、④、⑤、⑥の実施	①、②、③、④、⑤、⑥の実施	

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	創造都市推進局 産業振興課
実施項目	中小企業経営講習会等事業		
実施内容 (概 要)	【平成 30 年度外部評価対象事業】 関係機関と一層の連携（共催等）に努めるとともに、講習会の内容の検討に当たっては事業者側のニーズの把握に努める。 また、開催の時間帯について中小企業者等の都合に合わせた柔軟な対応に努めるほか、市ＨＰや他の中小企業者等を対象とした事業を活用した周知の手法を検討する。		
個別目標	受講者数の増加（29 年度の受講者数：2,091 人）		
実施工程	令和元年度		
	2,400 人		

分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	担当所属	健康福祉局 長寿福祉課
実施項目	高齢者福祉タクシー助成事業		
実施内容 (概 要)	【平成 30 年度外部評価対象事業】 申請者の意識調査を実施し、この結果に基づき交付基準を作成し、効果的な運用、事業費の抑制、高齢者への総合的な移動支援を検討する。		
個別目標	平成 30 年度：申請者の意識調査を実施 令和元年度：交付基準を作成 令和 2 年度：運用開始		
実施工程	令和元年度		
	交付基準作成		

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	都市整備局 交通政策課
実施項目	違法駐車防止対策事業		
実施内容 (概 要)	【平成 30 年度外部評価対象事業】 トラックなどの貨物集配車両の違法な路上駐車対策に取り組む高松ポケットローディング協議会への補助を行うとともに、街頭キャンペーンや違法駐車車両調査により、違法駐車を防止することで、道路交通の円滑化を図り、交通事故防止をもって市民の安全で快適な生活環境を確保している。そのような中、違法駐車防止のための啓発街頭キャンペーンや違法駐車防止重点地域における調査は必要であるが、今後、一部の荷捌き駐車場が利用できなくなることに伴う、新たな駐車場の設置が難航していること、配送・集荷業者が、手法を変更し、車両総量を抑制する取組を始めていることを考慮すると、令和元年度以降の運営補助金は実施しない。		
個別目標	違法駐車防止重点地域における状況の注視や啓発活動を引き続き行いながら、荷捌きに係る違法駐車車両の縮減については、県トラック協会を始めとする民間のソフト面での取組みを尊重していく。		
実施工程	令和元年度		
	新規補助は実施しない		

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 スポーツ振興課
実施項目	高松市長杯室内陸上競技大会負担金の見直し事業		
実施内容 (概 要)	【平成 30 年度追加事業】 全国初となる棒高跳びの公認競技が可能な「室内競技場」を併設している特徴を活かし、陸上競技の競技力向上を図ることを目的に、屋島レクザムフィールド（屋島競技場）のリニューアルオープンに併せ、開始した。オープニング記念事業として平成 29 年度に実施し、平成 30 年度以降においては他の競技団体が主催する大会との不均衡、財政面等から、負担金の減額を検討する。		
個別目標	令和元年度からの負担金減額を検討する。（30 年度の負担金：300 千円）		
実施工程	令和元年度		
	▲150 千円		

分類番号	4 - (1) (市民の市政参画の醸成と協働の取組)	担当所属	健康福祉局 健康福祉総務課
実施項目	災害援護事業		
実施内容 (概 要)	【令和元年度外部評価対象事業】 災害援護事業の中心となる避難行動要支援者名簿について、外部評価による意見を踏まえ、これまで以上に災害時に役立つものとなるよう、地域での名簿情報の更新や要支援者の支援体制づくりを支援する。		
個別目標	先進地域での取組事例を他地区にも紹介し、地域力の向上を支援する。		
実施工程	令和元年度		
	地域力の向上を支援		

(2) 中止とした実施項目（単年度の中止は含まない）

平成 30 年度に中止とした実施項目

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	市民政策局 くらし安全安心課
実施項目	交通事故相談事業		
実施内容 (概 要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 市民が気軽に相談できる窓口として、もっと認知度を上げる必要があり、広報たかまつ以外の広報について改善するなど、利用者数を増加させる。 ①チラシを作成し、本市以外の相談窓口や交通安全教室などで配布する。 ②相談窓口を本庁舎 1 階の消費生活センター内に移設する。		
個別目標	①平成 29 年度の半ばから、交通安全教室などで配布・周知する。 ②平成 30 年 4 月を目途に移設する。		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	①、②の実施	① の実施	
中止理由	利用者数の激減や相談員が確保できない状況の中、平成 30 年 4 月から相談所を休止していたが、事業の継続又は廃止を検討した結果、同年 6 月末をもって廃止した。		

Ⅱ 各 論

1 局進行管理

(1) 令和元年度取組状況（局別）

局 名	実 施 項目数	A 実施済	B 着手済	C 未着手	D 中止	E 未到来	取 組 項目数
市民政策局	5	4	1				5
総務局	14	11	2		1		13
財政局	12	10	2				12
健康福祉局	15	9	6				15
環境局	10	8	2				10
創造都市推進局	19	8	11				19
都市整備局	14	9	5				14
消防局	5	5					5
病院局	6	3	3				6
教育局	6	2	4				6
合 計	106	69	36		1		105

(2) 令和元年度目標達成度（局別）

局 名	取 組 項目数	5 達 成	4 おおむね 達 成	3 ある程度 達 成	2 やや下回 っている	1 かなり下回 っている	0 全くでき なかった
市民政策局	5		4			1	
総務局	13	5	7		1		
財政局	12	4	7			1	
健康福祉局	15	8	3	2	1	1	
環境局	10	6	1		2	1	
創造都市推進局	19	6	8	1	2	1	1
都市整備局	14	8	3		2		1
消防局	5	3	1	1			
病院局	6	1	3	1		1	
教育局	6	2	1	2	1		
合 計	105	43	38	7	9	6	2

5達成：100%以上 **4おおむね達成**：100%未満～85%以上 **3ある程度達成**：85%未満～70%以上

2やや下回っている：70%未満～60%以上 **1かなり下回っている**：60%未満 **0全くできなかった**：0%

(3) 効果額（局別）

（千円）

局 名	平成 28-令和元年度目標効果額			平成 28-令和元年度実績効果額			進捗率 (%)
	計	歳入	歳出	計	歳入	歳出	
市民政策局	—	—	—	—	—	—	—
総務局	45,800	0	45,800	0	0	0	0
財政局	73,000	73,000	0	230,652	230,652	0	316.0
健康福祉局	418,709	0	418,709	337,853	0	337,853	80.7
環境局	122,020	28,252	93,768	521,074	152,397	368,677	427.0
創造都市推進局	42,518	0	42,518	92,624	0	92,624	217.8
都市整備局	65,241	65,241	0	99,462	99,462	0	152.5
消防局	156	156	0	5,841	5,841	0	3744.2
病院局	—	—	—	—	—	—	—
教育局	—	—	—	—	—	—	—
旧上下水道局	16,307	—	16,307	72,926	—	72,926	447.2
合 計	783,751	166,649	617,102	1,360,432	488,352	872,080	173.6

（注）効果額は 28 年度からの累計であるため、28・29 年度の水道事業に係る目標効果額、実績効果額を含む。

2 局進行管理制

市民政策局

令和元年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに、「新コンプライアンス推進施策」に基づき、リスクマネジメント会議におけるヒヤリハット事例に関する情報共有や、コンプライアンス推進日（毎週金曜日）には地方公務員法を、毎週月曜日にはCS Credoの唱和を行うなどにより、コンプライアンス意識と公務員としての自覚の醸成に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに、事務担当表と年間スケジュールを作成した上で、担当の役割を明確にするための打ち合わせを行いました。 また、毎日の終礼の実施や、翌月の月間スケジュールを作成することで、担当業務別の進捗状況の確認や課題の情報共有を図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市町村・国際文化アカデミーの長期研修などへの参加や、OJT（職場内研修）を通じて、担当職員に必要な専門知識の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに、一業務を複数人が関わる制度の整備や、日常業務の中で経験豊富なベテラン職員が業務に関する助言・指導を行うことにより、専門知識や技術の継承に取り組みました。
技術継承の推進		

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、人事評価の能力評価及び業績評価について、所属職員との面談を通して、情報・目標の共有、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、あいさつや声かけを積極的に行うほか、リスクマネジメント会議において課題や懸念事項に関する情報を共有することなどにより、風通しのよい職場の実現に努めました。 また、市民課では、若手職員で構成しているステップアップ委員会等を定期的に開催し、業務における課題等について話し合う機会を設けました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課ともに、業務別マニュアルを作成・活用するとともに、必要に応じて更新を行い、1件当たりの時間短縮を確立し、事務の効率化を図りました。 また、見直した業務マニュアルについては、必要に応じて各総合センターにも提供し、情報共有しています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

市民政策局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	6 件	効果額		令和元年度取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	千円	※達成	
実施済	4 件	実績効果額		※おおむね達成	4 件
着手済	1 件	歳 入	千円	ある程度達成	
未着手		歳 出	千円	やや下回っている	
中止	1 件			かなり下回っている	1 件
未到来		計	千円	全くできなかった	
【実施・着手率】	83.3 %	【達成率】	%	【達成率】※の割合	80.0 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
4－（１）	地域みずからがまちづくり活動の拠点施設としてのコミュニティセンターの管理・運営を行うための管理運営委託料や、各コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援するための地域まちづくり交付金及び課題解決応援加算の交付を行いました。また、地域コミュニティ協議会の事務局職員の人件費を補助し、事務局体制の強化を支援しました。	—
地域コミュニティの構築・支援		

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
4－（１）	男女共同参画週間事業のうち、講演会については、財源である県委託費が減額されたことにより実施できなかったため、目標を達成することができませんでしたが、引き続きSNS等を活用した事業の周知啓発に努めます。
男女共同参画社会推進事業	

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	●地域コミュニティの構築・支援については、地域みずからがまちづくり活動の拠点施設としてのコミュニティセンターの管理・運営を行うための管理運営委託料や、各コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援するための地域まちづくり交付金及び課題解決応援加算の交付を行いました。 ●自治会の在り方プロジェクトチームにおいて、自治会を担う人材の育成や地域ニーズに対応した活動への支援など、地域・行政双方で取り組むべき方策などを最終報告書として取りまとめました。 ●協働企画提案事業は、新規２事業、継続２事業を採択実施しました。
課 題	●自治会活動の活性化については、地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下に歯止めをかける方策が必要です。 ●地域コミュニティの構築・支援については、地域コミュニティ協議会組織の構築からおおむね１０年以上が経過し、各地域への理解や取組状況に温度差がみられ、民主的な組織運営や適性な会計処理など、自主・自立の成熟が必要です。 ●地域コミュニティ協議会や市民活動団体と行政の双方が、協働への理解をより深めることが求められます。
今 後 の 取 組	●自治会活動の活性化については、自治会の在り方プロジェクトチームの最終報告書を踏まえて、地域と行政が共に、自治会の再生及び活性化に向けて、自治会活動、人材の育成及び自治会活動のPRなど、新たな取組の検討・実施を行います。 ●協働推進員制度の在り方検討については、災害時指定職員など、同じ地域で活動を行う職員同士の連携を図る方策を検討します。

総務局

令和元年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に掲載している各施策を実践し、コンプライアンスの徹底に取り組みました。特に、リスクマネジメント会議の活性化に重点を置き、ヒヤリ・ハット事例について情報共有を図るとともに、職員のコンプライアンス意識の向上を図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	人事評価制度の業績目標を活用し、職位ごとに、懸案事項に対する達成水準や達成方策を明確にすることで、各自に求められる責任や役割を改めて認識する機会とするなど、意識の高揚に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	総務課、コンプライアンス推進課など関係課が共同で、文書取扱主任等を対象とした各種取扱主任等事務説明会を開催し、文書事務や情報公開制度等について職員の専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	複数の所属において、ベテラン職員と若手職員がペアを組み、日常業務を行う中で、技術継承の推進に努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価面談を通じて、職場内の課題認識及び情報共有を行うとともに、コミュニケーションの活性化を図り、風通しの良い職場環境づくりに努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、日頃から活発なコミュニケーションと情報共有に努め、風通しの良い職場環境づくりに取り組みました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	事務改善やリスクマネジメント会議での報告事案を受けて、必要に応じて業務マニュアルの内容の更新を実施しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

総務局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	14 件	効果額		令和元年度取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	45,800 千円	※達成	5 件
実施済	11 件	実績効果額		※おおむね達成	7 件
着手済	2 件	歳 入		ある程度達成	
未着手		歳 出		やや下回っている	1 件
中止	1 件			かなり下回っている	
未到来		計		全くできなかった	
【実施・着手率】	92.9 %	【達成率】	0.0 %	【達成率】※の割合	92.3 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
1－（2）	情報セキュリティ管理者等を対象とした集合研修や標準型メール訓練を実施したことにより、職員のセキュリティ意識が向上しました。	—
情報セキュリティ研修の実施		

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
—	—
—	

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	●コンプライアンスの徹底について、「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めた結果、「市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合」が、前年度に比べ4.6%上昇しました。
課 題	●震災対策総合訓練の見直しについては、令和元年11月24日に鬼無小学校において防災訓練を実施予定でしたが、雨天のため中止となりました。今後は、雨天の場合を想定した訓練内容についても、地元と協議を行う必要があります。
今 後 の 取 組	●「受益者負担見直し基準」の見直しについて、使用料及び手数料等の算定方法、受益者負担の割合について、現状を把握するため関係課の調査を実施し、データ整理及び分析を行っています。各使用料等の算定方法や基準に統一性はなく、全庁的に統一基準を設定し、運用することの可否等を検討しながら見直しを行います。

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	定期的にリスクマネジメント会議を開催し、ヒヤリ・ハット事案等を報告し、再発防止策を協議するとともに、情報共有を行っています。また、定期的に地方公務員法第30条等を唱和し、課員全員でコンプライアンス意識の向上に努めています。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	朝礼及び終礼又は係長会などを行うことにより、業務内容や進捗状況を共有するとともに、各職位の責任や役割について認識を深め、明確にし、日々の業務に努めています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	課内で研修を実施したり、専門性の高い業務については専門の研修を受講するなど、職員のスキルアップを図っています。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	後継者の育成を見据え、担当業務の体制を構築し、知識・経験の継承に努めています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度に基づき、適切に各自が目標設定を行い、公平で客観的な評価を行うとともに、面談を通じて意思疎通をはかり、指導及び助言をすることができました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	上司への報告、連絡、相談を適宜行い、情報の共有化を積極的に行い、風通しの良い職場環境づくりを行いました。また、あいさつや日ごろからの声かけなどを積極的に行ったことにより、コミュニケーションの活性化が図られました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各係や課単位での「業務マニュアル」を作成し、必要に応じて適宜見直し、修正を行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

財政局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	12 件	効果額		令和元年度取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	73,000 千円	※達成	4 件
実施済	10 件	実績効果額	230,652 千円	※おおむね達成	7 件
着手済	2 件	歳 入	230,652 千円	ある程度達成	件
未着手	件	歳 出	千円	やや下回っている	件
中止	件			かなり下回っている	1 件
未到来	件	計	230,652 千円	全くできなかった	件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】	316.0 %	【達成率】※の割合	91.7 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (1)	（株）レクザムとの屋島競技場の命名権契約（H29年度から5年契約）による収入、庁舎広告付案内表示板の広告収入及び日立造船（株）との高松駅前広場公衆便所命名権契約（R2年度から3年契約）による収入を確保しました。	34,029千円
ネーミングライツの導入		

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (1)	未利用地について他課から所管換えを行い、一般競争入札による売払処分を積極的に進め、財源の確保を図ることができました。	196,623千円
未利用地等の売払		

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
2 - (1)	平成26年度以降、自家用車駐車の有料化及び減額案の検討や職員団体との交渉を図ってきましたが、進展は見られませんでした。今後、改めて他市の状況も参考にしながら、職員団体との再交渉を行うための打開策の有無について、調査・研究を進めていきます。
職員の自家用車駐車の有料化	

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	●ネーミングライツ事業については、庁舎案内版モニターへの広告掲載や高松駅前広場公衆便所命名権契約により、広告収入を確保しました。 ●未利用地については、他課から所管換えを行い、一般競争入札による売払処分を積極的に進め、財源を確保しました。 ●市税収納率の向上対策については、早期の滞納整理に努めるとともに、口座振替の利用促進やスマホ収納の導入の検討など、納付しやすい環境の整備を推進することにより、市税の収納率がH30年度97.1%に対し、R元年度97.3%と、目標値を上回りました。 ●市・県民税の特別徴収比率の向上については、特別徴収義務者の指定を行い、給与所得者に係る個人住民税の特別徴収により、給与所得者に占める特別徴収の割合が前年度から7.5%上昇し89.2%となりました。
課 題	●出先施設における職員の自家用車駐車の有料化については、職員組合から受け入れられない旨の回答があり、交渉の進展・目途はなく、新たな案の作成にも至っていません。
今 後 の 取 組	●未利用地（廃止施設の跡地等を含む）について、更なる周知を行い一般競争入札による売払処分を進めることで財源の確保に努めます。

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	朝礼時の地方公務員法第30条などの唱和に加え、原則、月2回のリスクマネジメント会議の開催のほか、局内を7つのグループに分けて実施した、公務員倫理研修などにより、各職員のコンプライアンス意識の向上に努めました。 また、各所属のリスクマネジメント会議で挙げた事案については、局内課長会で情報共有し、その要因を分析したうえで、再発防止を検討するなど、局を挙げてリスクマネジメントの強化に取り組みました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	毎月末に局内課長会を、課においては毎月、適宜、係長会を実施し、各課（係）の行事予定や懸案事項の進捗などについて、報告を行うことで、共通認識を図り、それぞれの職位に応じた責任・役割について明確化させました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	異動職員や新人職員を対象とした研修会の開催や、市内外で開催される研修へ職員を積極的に派遣するなど、職員の業務遂行能力に係る専門性の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	保育士や保健師など、専門的な知識や技術が必要とされる職員の技術継承については、経験年数が高い職員が講師役となり、研修会を開催するなど、技術継承の推進に努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価については、公平性・客観性・透明性に留意し、職員の能力及び業績について、適正な評価を実施しました。また、期初・中間・期末面談を通じ、これら面談を単に評価するためだけのものではなく、職員間のコミュニケーションの活性化にも活用し、風通しの良い職場づくりに努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	局内所属において、ノー残業デー、プレミアムフライデーの積極的な実施、ワークライフバランスの推進を図りながら、職員一人一人が能力を最大限に発揮できるような職場環境の整備に努めました。 また、局長と管理職の面談や、局長が講師となり局内の課長補佐級職員を対象に議会対応に関する研修を実施したほか、機会を捉え、局内の管理職に対し、健康福祉局を取り巻く課題や対応方針などの共有に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	局内全所属において、作成している「業務マニュアル」について、その内容を点検するとともに、制度改正や職務遂行時の事故・トラブル等が発生した際には、その都度、見直しを行い、適正な業務の執行体制の整備に努めました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

健康福祉局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	15 件	効果額		令和元年度取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	418,709 千円	※達成	8 件
実施済	9 件	実績効果額	337,853 千円	※おおむね達成	3 件
着手済	6 件	歳 入	千円	ある程度達成	2 件
未着手	件	歳 出	337,853 千円	やや下回っている	1 件
中止	件	計	337,853 千円	かなり下回っている	1 件
未到来	件			全くできなかった	件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】	80.7 %	【達成率】※の割合	73.3 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (4)	介護予防・日常生活支援総合事業について、利用者の状態像に即したサービスを利用することができるよう「振り分けフロー」を作成し、それをを用いたケアマネジメントを実施することにより、適正化に繋げることができました。	—
介護保険給付費の適正化		

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
3 - (1)	平成29年度までは、計画内容に沿った補助金の削減を実施し、効果額目標欄に記載の金額を概ね達成していましたが、高松市社会福祉協議会より、経営状況が悪化しているとの申し出を受け、平成30年度から同協議会の経営状況を判断して、補助金を算定することとしました。その結果、目標達成度がかなり下回ることとなりました。
高松市社会福祉協議会 助成事業の見直し	

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	●幼稚園、保育所の在り方については、令和元年度に林地区及び屋島地区において、幼保連携型認定こども園への移行に向けた施設整備が完了し、令和2年度より当該地区のこども園を開園しました。これに伴い、将来的な施設運営費の抑制に努めることができました。 ●居宅介護支援事業所の実地指導に併せ、ケアプランの点検を実施しています。これに伴い、介護サービス利用の適正化に努めることができました。 ●被保護者に対する就労支援については、適切な支援により、「生活保護受給者等就労自立促進事業」実施計画における就労者数の目標値を大幅に上回る実績値で達成することができました。
課 題	●国民健康保険事業における医療費及び介護保険給付費の適正化 ●介護予防事業の積極的な実施による要介護者数の抑制 ●廃止（統合）後における施設（健康福祉局関連）の有効活用等
今 後 の 取 組	●国民健康保険事業における医療費の適正化に向け、保険者努力支援制度を最大限活用し、糖尿病性腎症等重症化予防プログラムや特定健康診査の受診率向上対策、重複服薬対策等の各種保健事業に積極的に取り組みます。 ●「高松市立幼保連携型認定こども園整備基本計画」に基づき、就学前の子どもに等しく質の高い教育・保育環境を提供できるよう、市立幼稚園・保育所について、幼保連携型認定こども園への移行を推進します。

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	リスクマネジメント会議を毎月2回実施し、ヒヤリ・ハット事例などの情報共有やコンプライアンスに関する周知・意見交換を行うとともに、朝礼等におけるＣＳクレド等の唱和(加えて衛生センターでは月に1回「職場のビジョン」の唱和)や研修の実施、資料の回覧等を通して、法令遵守意識を向上させました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、業績目標の設定及び個人面談、年間スケジュールの作成、業務マニュアルの活用、係長会・係内会議・朝礼・終礼等における業務の進捗状況の打合せ・報告等を通じて、各職員が責任と役割を認識するよう取り組みました。 また、衛生センターでは、昨年度に引き続き「重点目標シート」を作成し、担当の役割の明確化と係ごとの情報共有や進捗状況の把握及び適切な指示を行ったほか、「コミュニケーションチェック表」を作成し、管理職と一般職員とのコミュニケーションの活性化と情報共有に活用しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、職場外研修や資格取得講習の受講を促進したほか、専門的・技術的な情報について会議や資料の回覧等で知識の向上に努めました。また、環境業務課では、職員の担当地区を毎年、配置換えすることにより、収集に必要な地域情報と経験を蓄積し、南部クリーンセンターでは、資源処理工場等の状況確認などを通じた技術・知識の習得を図ったほか、西部クリーンセンターでは、業務に必要な資格の未取得者をリストアップし、計画的に受講、受験を促すことで資格の取得促進を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、業務マニュアルの活用により業務に必要な知識・技術の継承を図ったほか、異動者や若手職員などに対し、上司や先輩職員によるＯＪＴを実施したほか、南部クリーンセンターでは、モニタリングや管理運営事業者との打合せを通して機器のメンテナンスや補修など技術的な知識・情報の共有を推進しました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、面談を適切に実施し、各職員が職務の遂行において発揮した能力及び達成した実績を公平かつ公正に評価しました。また、面談時に評価の基準について説明し、評価者と被評価者の基準が同じとなるよう取り組みました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	局内のオフサイトミーティングを実施したほか、各課において、朝礼時のスピーチ、管理職の声掛け、日常的なミーティングの開催、挨拶の励行などを通して、職員間のコミュニケーションを積極的に行うとともに、管理職の人事評価の目標を職員に提示し、課の取組事項の共有に取り組みました。また、環境業務課では、職場の整理整頓を呼びかけ、働きやすい職場づくりに取り組みました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課において、日常業務におけるヒヤリ・ハット事例や新たな課題などを適宜、業務マニュアルに反映するとともに、年度末を中心にマニュアルの確認・見直しを随時行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

環境局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	10 件	効果額		令和元年度取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	122,020 千円	※達成	6 件
実施済	8 件	実績効果額	521,074 千円	※おおむね達成	1 件
着手済	2 件	歳 入	152,397 千円	ある程度達成	件
未着手	件	歳 出	368,677 千円	やや下回っている	2 件
中止	件			かなり下回っている	1 件
未到来	件	計	521,074 千円	全くできなかった	件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】	427.0 %	【達成率】※の割合	70.0 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (2)	し尿と下水等の共同処理により、衛生処理センター（亀水町）を廃止するなど、経費の縮減を図りました。今後も共同処理を着実に実施します。	歳出 313,774千円
し尿と下水の共同処理事業		

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
3 - (4)	全庁的に調査し、貸出可能な市有地を探してきましたが、貸出期間が20年間と長期に渡ることや、FIT制度による売電額の低下等の影響から、新たな候補地や事業者を見出すことが出来ず、達成度が低くなったものです。 今後においては、再生可能エネルギーの利用促進につながる新たな取組について調査・研究していきます。
市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進	

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成果	●衛生センターでし尿等の前処理後、東部下水処理場へ移送し、下水とし尿等の共同処理を本格実施しました。 ●西部クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事を実施し、計画どおり蒸気タービンの更新を完了しました。発電能力が1,400kWから3,000kWに増強されたことから、余剰電力の売電量を増加させ、購入電力量を削減しました。 ●直営の家庭ごみ収集に係る段階的な委託の一期目を開始。委託後の収集体制について精査した結果、4t収集車3台の減車を行いました。 ●高松駅前広場公衆便所に係るネーミングライツ事業の公募を行い、1者から応募がありました。（愛称は“Hitz瀬戸の都トイレ”契約金額は年額10万円（税抜き）） ●住宅用太陽光発電システム設置費補助制度について、多核連携型コンパクト・エコシティの実現に資するよう補助制度を見直しました。
課題	●家庭系ごみ収集運搬に係る既委託業務の契約方法等について、積算根拠の見直し、内諾書方式から見積聴取方式への変更を行ったところですが、競争入札への切替については、引き続き関係団体等と意見交換を行い、調整を継続していく必要があります。 ●1人1日当たりのごみの再資源化量は、近年減少傾向となっています。
今後の取組	●西部クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事に伴う発電能力の向上を生かし、電力の自給及び余剰電力の売却を推進します。 ●し尿と下水等の共同処理を引き続き着実に実施します。 ●「高松市ごみ分別アプリ」などを活用したごみに関する情報発信に努めるとともに、使用済小型家電リサイクル事業や紙資源リサイクルの推進を継続実施することにより、1人1日当たりの再資源化量の更なる増加を目指します。

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	局内各課において、「新コンプライアンス推進施策」に記載している施策を実践し、意識の徹底を図りました。特に、朝礼及びリスクマネジメント会議において、事故や不祥事の発生を未然に防ぐことの周知、意見交換等を行い、職員の意識付けと風通しの良い環境づくりに向けて取り組みました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	局内各課において、定期的な係長会を開催し、事業の進捗状況の確認や、懸案事項等の協議を行い、円滑な業務遂行に努めました。また、年間スケジュールを作成した上で、各担当の役割を明確にするための打ち合わせや、終礼を実施することで、担当ごとの進捗状況を把握し、適切な指示を行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	実務能力等を身につけた職員が、周囲に情報や知識を伝えることで、専門性の維持に努めるとともに、新人職員・異動職員に対して各種マニュアルを活用した指導・教育を行いました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	国や県が開催する各種研修会に積極的に参加するとともに、ベテラン職員と新人・異動職員をペアにすることで、日常業務の中で技術継承に取り組みました。また、事務分掌の一部を毎年ローテーションすることにより、前任者が在課中にノウハウを継承できるように取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価による面談を活用し、懸案事項や提案事項を聞き取るとともに、職員の職務能力を公正・適正に評価することで、職員に応じた人材育成や意識改革に活用しました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	毎朝の朝礼等において、「Takamatsu CS Credo」や地方公務員法第30条を唱和し、公務員として資質の向上を促すとともに、交代でスピーチを実施するなど、風通しの良い職場の実現に向けた取組を実施しました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	局内各課において、担当業務マニュアルを随時更新しながら完成度の高いものを作成することに努めるとともに、各業務の進捗状況を表にして執務室に掲示するなど、全体スケジュールの把握と事務の効率化を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

創造都市推進局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	19 件	効果額		令和元年度取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	42,518 千円	※達成	6 件
実施済	8 件	実績効果額	92,624 千円	※おおむね達成	8 件
着手済	11 件	歳 入	千円	ある程度達成	1 件
未着手	件	歳 出	92,624 千円	やや下回っている	2 件
中止	件			かなり下回っている	1 件
未到来	件	計	92,624 千円	全くできなかった	1 件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】	217.8 %	【達成率】※の割合	73.7 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2－（１） 競輪事業の効率的運営	定年・中途退職者の補充を行わないとともに、全従業員を対象とした雇用調整を行い、経費の削減に努めました。	73,738千円

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
3－（１） サンドヒルかほく市高松ランド・ゴルフ大会補助金の見直し	事業の廃止（事業費5万円）に対し、10%の減額に留まりました。引き続き廃止・減額に向けて関係団体と協議を図っていきます。

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
2－（２） 研修施設等の在り方の検討及び維持管理の適正化	施設の在り方について検討を行うに当たって、施設の耐震診断の委託のための予算を配分した結果、令和元年度予算が増額しました。今後においては、施設の廃止等を含め適正管理を図り、更なる経費の縮減に努めます。

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	●各観光イベントの見直しや新たな自主財源確保に対するアドバイスなど、費用対効果の改善に努め、補助額を対前年比5～7%削減しました。 ●ため池・井溝としての本来の役割を終えた法定外公共物を貸し付けすることにより、本市の財産収入となりました。 ●市長杯室内陸上競技大会について、主催団体と内容を見直すことにより、負担金の減額を行いました。
課 題	●サンドヒルかほく市高松ランド・ゴルフ大会補助金について協議を行った結果、H28年度は廃止となったが、その後、H29年から再開することとなったため、引き続き廃止・減額に向けて関係団体と協議を図っていきます。 ●市民農園整備事業については、市報等を活用して既設市民農園の利用促進に努めましたが、利用率の改善には至りませんでした。
今 後 の 取 組	●美術館の利用率向上に向け、SNS等で更に積極的かつ効果的な広報活動により情報発信に努めます。 ●中小企業経営講習会等事業について、市と包括協定を締結している企業とBCP活用訓練セミナーを共催しました。今後も、効率的・効果的な実施に努め、受講者の増加につなげていきたいと考えています。

都市整備局

令和元年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策の実践に向け、情報管理や適切な経理事務処理の徹底、交通安全意識の向上など各係における行動を評価し、リスクマネージャーの活動の活性化に重点を置き、リスクマネジメント会議においてリスク事案の共有化を行いました。また、朝礼におけるコンプライアンスに係る講和などにより、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	年間スケジュールを作成したうえで、係長会議で、担当ごとの業務進捗状況、役割を確認し、進行管理を意識づけました。また、組織目標の達成に向けて、管理職が、職位に応じた業績評価目標を各職員に示すことで、求められる役割や責任を認識させました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	長期、短期の研修や、資格取得の奨励、業務に必要な専門図書の購入などのほか、日常から業務に係る議論を実施することで、職員間において専門性を高めるとともに、知識の共有をすることに繋がっています。また、技術者としてのモチベーション向上とプロ意識の醸成のため、大型工事に積極的に係らせたほか、専門技術資格の取得を奨励しました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	職場内研修（勉強会）の定期的な開催や、ベテランと若手職員のペアリングによる日常からのOJTにより、設計積算に係る考え方の整理や新技術の周知を図るなど、技術継承等に取り組んでいます。また、個別案件への対応で得た知見等のマニュアル化を図り、職員間で共有を行いました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、面談等を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	管理職が、職位に応じた業績評価目標を各職員に示し、組織目標を明確にするとともに、課内会などを通じて、業務進捗に関して情報共有・コミュニケーションを図ることで、職員同士で相談しやすい雰囲気づくりなどの風通しの良い職場環境を整えるよう努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	文書整理と共有フォルダの利用についてのプロジェクトチームの編成、たかマップへの管理データの搭載などにより、事務の改善、効率化を図るとともに、業務マニュアルに反映し、安定的かつ効率的な業務運営が遂行できるようにしました。また、働き方改革やワークライフバランスの意識を持つよう指導し、カエル事例提案の検討や事務の効率化が図られるよう努めました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

都市整備局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	14 件	効果額		令和元年度取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	65,241 千円	※達成	8 件
実施済	9 件	実績効果額	99,462 千円	※おおむね達成	3 件
着手済	5 件	歳 入	99,462 千円	ある程度達成	件
未着手	件	歳 出	千円	やや下回っている	2 件
中止	件			かなり下回っている	件
未到来	件	計	99,462 千円	全くできなかった	1 件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】	152.5 %	【達成率】※の割合	78.6 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
4 - (1) 道路愛護団体による道路愛護の推進	市のHPや広報紙によるPR及び、地域コミュニティ協議会や自治会に対する本制度の周知を図ったほか、国・県により、道路愛護団体事業が実施されている国道、県道に接続する市道において、マイロード事業の推進を図ったことにより、新たに7団体を道路愛護団体に認定し、合計123団体を認定するなど、事業の推進を図りました。	新規認定7団体
2 - (1) 公共下水道接続率の向上	下水道普及促進員による未接続世帯への戸別訪問や接続依頼文の郵送等による周知・啓発活動に取り組んだ結果、接続率が92.0%に上昇し、収入が増加しました。	17,866千円収入増

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
3 - (1) レンタサイクル事業の見直し	収入増を目指した利用料の改定（値上げ）については、一時利用の相当数が定期利用へ移行したため、当初見込んでいた一時利用収入が確保できていません。今後は、レンタサイクルの多様な在り方を踏まえ、新デザインを施した車両を順次増やすほか、更なる利用促進とともに、管理システムの機器更新に当たり、他モードとのデータ連携を図る等、次期の指定管理者指定に併せ、管理手法とセットで見直し、支出の改善を図っていきます。

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成果	●公共交通空白地帯の解消におけるコミュニティバスの導入の可能性を検討するための支援については、新たな地区で1件、昨年度から継続している地区で1件実施しました。また、令和元年度に創設した、試験運行事業に対する補助制度に基づき、1路線の試験運行を開始しました。 ●丸亀町再開発事業の推進については、適切な指導・助言を行う中、前年度から繰越しとなっていた実施設計等を完了することができました。また、令和元年度には、権利変換計画作成等に着手し、全ての権利者の同意を得ることができました。 ●老朽市営住宅の入居者の住替えと住宅の除却については、老朽化した元成合町田中団地と元勅使町田中団地の解体工事に着手しました。 ●市営住宅への指定管理者制度の導入については、市営住宅管理センターが開設され、指定管理者による管理運営へと円滑に移行しました。 ●放置自転車等対策事業については、放置自転車の削減に向け、学校等へ周知文書を配布するなど、周知・啓発の強化を行うとともに、放置自転車禁止区域における移送・撤去を継続して実施しました。また、更なる放置自転車の警告及び撤去件数の減少を図るため、平成31年4月から放置自転車禁止区域内において、移送・保管の措置を講ずることができる相当な時間を「2時間以上」から「1時間以上」と規制を強化しました。 ●景観の保全、形成、創出については、屋外広告物禁止区域内において新基準に適合するよう対応（改修等）された既存不適格広告物が52件（栗林24・主要交差点28）、改修済率68%となっており、広告物の適正化が進められました。 ●市営駐車場の効率的運用及び利用促進については、平成26年度に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」に基づき、利用促進に努めるとともに、修繕を実施しました。 ●管理漁港・管理港湾の効率的運営及び利用促進については、浦生漁港の用地の一部において、平成28年度から引き続き、消防団屯所の移設に向け、土地利用計画の変更手続を進めました。 ●単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換促進については、下水道事業計画区域外における生活環境の改善や公衆衛生の向上を効果的に図るため、国（環境省）の方針に従い、新設に対する補助をすべて廃止した上で、単独処理浄化槽からの転換254基（うち単独転換上乗せあり216基、くみ取り及び単独転換上乗せなし38基）に対する補助を実施するなど、汚水処理人口普及率の向上に取り組みしました。 ●財務状況開示の拡充については、財務状況を明確にするため、毎月1回経営状況を公表するなど、市民に対する公営企業会計（下水道事業）の財務状況開示の拡大に取り組みしました。
課題	●「レンタサイクル事業の見直し」については、利用料の改定（値上げ）により、一時利用の相当数が定期利用へ移行したため、利用料収入が減少し、収支バランスの更なる健全化が必要となっています。
今後の取組	●公共交通空白地帯の解消については、昨年度開始した試験運行や、新規で導入検討を実施した地域に対する継続した支援、新たな地域への説明会等、コミュニティ交通の導入に向け、それぞれの地域の実情に即した支援に努めていきます。 ●公共下水道接続率の向上については、接続率の低い地域に重点を置いた戸別訪問等を実施するなど、下水道接続の更なる向上を図っていきます。 ●単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換促進については、単独処理浄化槽及びくみ取便所からの転換を対象として効果的に補助を行ってまいります。

消防局

令和元年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各局が取り組んだリスクマネジメント会議の報告内容等を参考に、所属内で意見交換を図るなど、コンプライアンス推進に向けた取組を定期的に実施しました。また、各所属において月2回実施するリスクマネジメント会議の結果については、局課長署長会にて共有・分析し、再発防止策を検討しました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各所属における係長会等の実施により、組織の意思を職員が共有した上で職階に応じた役割分担をするなど、各職員が職務遂行上の責任意識を持てるように努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	年間教養計画に基づき、各種研修や想定訓練を計画的に実施するとともに、外部研修機関や訓練機関へ職員を派遣するなどし、専門性の維持向上に努めました。また、各消防署では、年間訓練計画を作成し定期的に各種訓練を行うなど、職務遂行能力の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各所属において、OJT（職場内研修）や業務の複数対応により知識・技術の共有を図るとともに、現場対応に必要な若手職員を計画的に教育するなど、日常業務の中で技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度の面談の機会を活用し、各職員の業務等に対する意向を確認しながら、適切な目標設定等の支援をするとともに、適正な事後評価により、人材育成の観点からも有効に活用しました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	消防局重点取組項目を定めて職場目標を明確化し、目指すべき方向性を共有した上で、各職員が能力を発揮しやすい環境の構築に努めました。また、ワークライフバランスを積極的に推進するほか、局長と職員との局内ミーティングの実施など、風通しの良い職場づくりに努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各所属において業務の運用を点検し、リスクマネジメント会議の結果等も反映させながら適宜見直しを図り、職務遂行の正確性を向上させるほか、増大する事務の効率化を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

消防局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	5 件	効果額		令和元年度取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	156 千円	※達成	3 件
実施済	5 件	実績効果額	5,841 千円	※おおむね達成	1 件
着手済	件	歳 入	5,841 千円	ある程度達成	1 件
未着手	件	歳 出	千円	やや下回っている	件
中止	件			かなり下回っている	件
未到来	件	計	5,841 千円	全くできなかった	件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】	3,744.2 %	【達成率】※の割合	80.0 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-（1）	廃棄予定の消防用車両を売却し、増収を図りました。	5, 8 4 1千円
廃棄消防車両の売却		

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	●廃棄予定の消防車両を有効活用するため、消防用車両9台を売却し増収を図りました。 ●自主防災組織の育成強化については、訓練で使用する非常食を助成するなどの支援を行い、地域の防災訓練実施率が100%となりました。 ●応急手当普及啓発活動の推進については、普通救命講習などの資格講習を118回実施しました。
課 題	●自主防災組織の育成強化について、大規模災害発生時の長期的な対応を視野に入れた、実践的な訓練の実施を更に推進する必要があります。 ●まちかど救急ステーションは新たな事業所の認定ができておらず、働きかけの方法や対象を再検討する必要があります。
今 後 の 取 組	●自主防災組織の育成強化については、防災訓練実施率の維持を図ると共に、大規模災害時において有効な活動ができるよう、従来型の訓練内容に加え、避難所運営や地域特性に応じた訓練等の実施推進、他地区での取組事例の紹介などにより、自主防災組織の育成強化及び活性化を図ります。 ●応急手当普及啓発活動の推進については、救命講習や市民に対する啓発活動を継続して取り組むほか、「まちかど救急ステーション」事業についても、更なるPR活動等により認定事業所の増加に努めます。

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、朝礼時に地方公務員法第30条の唱和を行うほか、毎月25日をコンプライアンスの日とし、職員への意識付けと醸成に努めています。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	年間スケジュールを作成し、担当の役割を明確にするため、課長会・係長会など職位ごとの打ち合わせを行っています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	職務を遂行していく上で専門的な知識が必要な場合には、専門研修等を受講し、知識の習得を行っているほか、必要な認定資格等の取得を促し、スペシャリストの育成にも努めています。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	医療現場での若手職員の技能向上を図るため、日常業務の中で上司や先輩が率先し、技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度の趣旨に則り、組織として、職員の職務遂行の管理やその能力評価を行っています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	毎年、職場目標のスローガンを定め、職務に対する一体感を呼び起こすほか、各課で毎日の朝礼などを通じて、積極的にコミュニケーションをとるとともに、各職種、各業務毎に開催する会議を定期的に行うなど、風通しのよい職場環境の整備に努めました。また、業務改善の取組の一環として、職員提案用『院長への提言』を設置し、現場からの声が生かせるような組織風土の醸成にも努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	看護手順などの各業務ごとにマニュアルを作成しており、業務の改善と効率化を図るため、適宜見直しを行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

病院局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度				
実施項目数	6 件	効果額		令和元年度取組項目数
【取組状況】		目標効果額	千円	※達成
実施済	3 件	実績効果額		※おおむね達成
着手済	3 件	歳 入	千円	ある程度達成
未着手	件	歳 出	千円	やや下回っている
中止	件			かなり下回っている
未到来	件	計	千円	全くできなかった
【実施・着手率】	100 %	【達成率】	%	【達成率】※の割合
				66.7 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
1-（2） メディカルスタッフのスペシャリストの育成	看護師を始めとするメディカルスタッフのスキルアップの視点を踏まえ、各職種において特定の専門性を必要とする業務に、必要な認定資格等の取得を促し、医療の質の向上を目指し取り組んだ結果、令和元年度認定資格者等取得者数が95人となりました。	—

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
3-（3） 市立病院の統合・再編	市立病院の統合・再編のうち、附属医療施設の整備に係る基本計画の策定に当たり、調査・設計内容等の検討に日時を要したため、年度内の策定に至りませんでした。今後は、基本設計業務の発注を行い、効率的な整備に努め、早期の開所を目指します。

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	●メディカルスタッフのスペシャリストの育成については、医療の質の向上を図るとともに、病院機能を強化するために、個々の職員のスキルアップの視点も踏まえ、各職種において特定の専門性を必要とする業務に、必要な認定資格等の取得を促し、それらに従事する職員の育成に努めました。 ●効率的な物品管理体制の構築については、継続してSPD業務を委託し、発注業務の負担軽減、各部署の在庫管理の一元化及び棚卸業務の負担軽減、さらには、材料費等の縮減が図れました。 ●現年分収納率の向上については、クレジットカード、IruCa決済等、多様な納付方法が選択できることを継続するとともに、来院時等における未納者への接触機会を増やすなど、回収促進に取り組みました。 ●経営の健全化については、医療の「質・透明性・効率性」の確保を図るため、「高松市病院事業経営健全化計画」に基づき、目標達成に向けて取り組みました。具体的には、「みんなの病院」では、本市南部地域の中核病院として、「がん医療」、「救急医療」などの急性期医療に加え、「災害時や感染症に対する医療」、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」に重点的に取り組んでいます。また、塩江分院では「在宅療養支援病院」として、医師、看護師が24時間・365日体制で患者の在宅療養の支援に積極的に取り組みました。 ●地域住民との相互理解の醸成については、塩江分院では「地域まると医療」を基本方針とし、多職種のメディカルスタッフによる訪問指導や健康相談に取り組みました。 ●市立病院の統合・再編については、平成30年9月1日、旧高松市民病院と旧香川診療所を統合し「高松市立みんなの病院」として新築移転し開院しました。また、附属医療施設については、道の駅等の観光関連施設と一体的な整備を進めることとし、基本計画の策定に着手しました。
課 題	●市立病院の統合・再編のうち、附属医療施設の整備については、早期に基本設計を行い、整備用地を取得する必要があります。 ●良質な医療の提供と経営の健全化については、職員全員が、市立病院の基本理念「生きる力を応援します」の実現に向け、「市民から選ばれる病院」となるよう、全力で取り組んでいく必要があります。
今 後 の 取 組	●市立病院の経営は厳しい状況にありますが、「高松市病院事業経営健全化計画」に基づく取組を確実に実施するほか、地域の医療機関との連携をより一層強化し、これまで以上に「良質な医療の提供」と「患者サービスの向上」に努め、多くの市民から信頼され、安心して受診できる病院を目指します。また、附属医療施設の効率的な整備に努め、早期の開所を目指します。

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課とも、「新コンプライアンス推進施策」に記載されている各施策を実践するとともに、常に職場内での情報共有や意識啓発を行うなど、コンプライアンスの推進を徹底しました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課とも、年度当初に年間スケジュールを作成するとともに、職員それぞれが求められる役割・能力を十分に理解し、協力しながら職務を遂行しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	学校教育課、保健体育課など、指導主事の配置部署においては、専門性の伴う各種研修会や会議等に参加し、専門性の維持、向上に努めました。 また、職場内での情報共有を図り、行政サービスの向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課とも、日頃から知識の継承を意識しており、情報共有を心掛けました。 また、特定の職員が同一の業務を継続して担当しないように留意し、複数の職員が一定の内容は把握しているような体制づくりに努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	個人や組織のレベルアップにつながるよう人事評価制度を活用し、十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	風通しのよい職場実現のため、日頃からコミュニケーションを大切にし、情報共有に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課において、業務ごとのマニュアルを作成し、随時更新を行いながら、日常の業務遂行や引継時などに活用しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

教育局

▶平成28～令和元年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
実施項目数	6	件	効果額		令和元年度取組項目数
【取組状況】			目標効果額		※達成
実施済	2	件	実績効果額		※おおむね達成
着手済	4	件	歳 入		ある程度達成
未着手		件	歳 出		やや下回っている
中止		件			かなり下回っている
未到来		件	計		全くできなかった
【実施・着手率】	100	%	【達成率】		【達成率】※の割合
					50.0 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
3 - （１）	●高松市に居住し、成績優秀かつ向学心おう盛な生徒であって、家庭の経済的理由のため、就学困難な者に対して、奨学金を支給します。	—
教育資金支援事業	●高等学校等に入学を希望する者の保護者で入学準備金の調達が困難な者に対して、入学準備金を貸付けます。	
	●平成28年度高松市外部評価対象事業となり、奨学金制度については成績要件の見直しが必要との意見を受け、平成29年度奨学生から成績要件の引上げ（平均3.1以上→3.5以上）を行いました。	

▶令和元年度において目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由・今後の取組
—	—
—	

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	●学校給食調理場の整備及び運営方法の検討については、児童生徒数の急増や施設の老朽化により調理能力がひっ迫している複数の調理場を統合し、第二学校給食センターを新設しました。施設をドライ施設とするなど、衛生管理を強化することで、安全で安心な給食を提供できる環境を整備できました。 また、同センターの給食調理業務を委託化することで、維持管理コストの削減を行うことができました。 ●生涯学習センターの効率的運営及び利用率等の向上については、平成30年度から営利目的の使用料の見直しを行い、新たな基準に基づいた利用料金で貸館事業を行いました。平成30年度の利用率をわずかに下回ったものの、目標達成度は92%と概ね達成することができました。
課 題	●教育資金支援事業については、経済的理由により就学困難な者の増加により、成績要件の見直しを行っても、支給対象者の減少につながらないことも想定され、財政負担の縮減に直接的につながらない場合もあります。
今 後 の 取 組	●生涯学習センターの効率的運営及び利用率等の向上については、今後も生涯学習の推進のため、利用促進チラシの作成、ソーシャルメディアの活用を検討したいと考えています。また、令和2年9月から生涯学習センターの8室のうち小規模であり短時間の利用が見込まれる5室について、利用者の利便性を高めるため、1時間単位の使用料金の設定を追加して導入し、更なる利用率の向上を目指しています。 ●図書館運営事業については、サンクリスタル高松在り方検討事業において、図書館の在り方を中心に菊池寛記念館と歴史資料館との3館連携・融合を含め、施設の機能・魅力・集客力を高めるための検討を行う中で、指定管理者制度等の導入可能性を含め図書館の管理運営の手法について検討していきます。 ●教育資金支援事業については、今後の経済情勢などを注視する中で、他市の状況も踏まえ検討したいと考えています。

監査委員事務局

令和元年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	毎週金曜日の朝礼において、職員の当番制によるコンプライアンス関連の講和や、「Takamatsu CS Credo」や地方自治法の唱和を実施しました。また、月に2回、リスクマネジメント会議を開催し、職員のコンプライアンスの意識の向上に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	局の職場目標（管理職の人事評価の業績目標）を開示し、組織目標の共有・浸透を図るとともに、管理職を含めた局内の打ち合わせを定期的に開催し、職位ごとに求められる責任、役割の認識を深め、職場一丸となって職務を遂行しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市町村アカデミーや国際文化研修などの人事課主催の研修に参加したほか、その研修参加者が講師となって職場内研修を実施、職員間で専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	毎年事務分掌を見直し、担当業務について、前任者が課内に在籍し、サポートできる状態でスムーズな事務引継、技術継承が出来るよう体制を構築しています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価・行政評価における十分な面談や、希望者への評価結果の開示などを通じて、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	子育てや介護等を担う職員も多く、職員一人一人がワーク・ライフ・バランスをうまく保ちながら、安心して自らの職責を果たせるよう、日頃から職場内のコミュニケーションを深めたり、業務分担内容に配慮するなど、休暇等が取得しやすい職場風土づくりに努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	法制度の改正等、必要に応じて随時、業務マニュアルの内容更新等行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	リスクマネジメント会議により、ヒヤリ・ハット事例があったことを、情報共有することで、その原因を追究し、各職員のコンプライアンス意識を高めることができました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	月2回係長会議を開催し、課内の懸案事項の協議を行い、その都度、事業の方向性や担当者等を決定しました。また、選挙課内で共通の認識が持てるよう事業の進捗状況の確認や情報の共有を図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	過去の選挙においては、多数の問い合わせや苦情が寄せられ、公職選挙法及び事例の研究等の専門的知識の向上を図りました。また、それらの事例については、共有ファイルで課内全員で情報共有を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	選挙時の併任職員について、担当業務ごとに経験と知識を有する併任職員を配置し、未経験の併任職員への技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	選挙の準備には、膨大な事務が発生し、休日出勤や時間外勤務を余儀なくされるが、係間で協力しながら風通しの良い環境職場づくりに努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各担当ごとに作成している選挙業務マニュアル及び、全体の主要事務日程表を確認し、適正に選挙を管理執行する中で、適時見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	毎週月曜日の朝礼で「Takamatsu CS Credo」を唱和し、定期的にリスクマネジメント会議を開催するなど「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンス推進を徹底しました。 特に、職場の使命（ミッション）である優良農地の確保と担い手への農地集積・集約化の施策に重点を置き、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	業務上の懸案事項について管理職を含め相談する体制をとるなど、職位ごとに求められる責任、役割を認識しながら問題の解決に努めました。 また、各係ごとに、I L U Oチャートを作成し、その評価による担当者の成長度合いの見える化、モチベーションのアップを図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	日常的に職員間で業務についての相談を行うほか、四半期ごとに、講師（事務担当者）の持ち回りによるO J T（農地関係法令研修）を実施し、職場全体の専門性の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	ベテラン職員の人事異動に対応するため、各係員全員が全ての業務に係る専門的な知識を取得できるよう、原則2年間ごとのジョブローテーションを実施し、前任者が課内に在籍しているうちに引継ぎを行えるようにしました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、十分な面談や希望者への評価結果の開示などを通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	「農政全般にわたる専門的な知識を有するプロフェッショナル集団を育てる組織への改革」という職場目標を設定し、目標達成に向けて毎月最低1回の係内ミーティングを実施しました。 また、日々のコミュニケーションを積極的に行い、風通しの良い職場環境の整備に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	毎月の定例総会における農地法関係の議案書作成時に利用しているシステム内への事案説明概要欄（備考欄）の入力において、定型入力パターンを作成し、統一的な表記と記事の欠落を無くすとともに、削減した時間を転用許可申請案件の審査、地区農業委員等との現地での綿密な意思疎通、来客・電話対応に有効活用しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。特に、「毎週金曜日をコンプライアンス推進日に設定」の施策に重点を置き、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、年間スケジュールを作成し、局内係長会で情報共有を図るとともに、担当の役割を明確にするため係内打合せを行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	人事課等が実施する研修のほか、香川県市議会議長会、四国市議会議長会が実施する事務局職員研修会に所属職員を積極的に参加させました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課の事務分掌において、在籍年数の長い職員と短い職員を組み合わせ、技術継承に努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、各課ともに十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課において、「風通しのよい職場の実現」という職場目標を設定し、係長会開催後に係内ミーティングを実施しました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	係単位で作成している業務マニュアルについて、適宜見直しを図っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

出納室

令和元年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	朝礼において、毎週水曜日は不祥事撲滅推進プログラムを、金曜日は「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」第3条及び第4条を読み上げることで、室内全職員でコンプライアンス意識を高めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各係において担当ごとの進捗状況を把握し、適切に指示をしました。 また、業務上の懸案事項等について、管理職を含め相談する体制を作っており、その中で職位ごとの責任や役割を認識しながら問題の解決に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	普段から職員間で業務についての相談を活発に行っているほか、レアケースについての情報共有を図ることで、専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	1年ないし、2年ごとに担当業務や担当する課を入れ替え、前任者が課内に在籍しているうちに引き継ぎを行えるよう努めることで、技術継承の推進を図りました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度に基づき、評価者による面談を漏れなく実施するとともに、管理職等上位の者が設定した目標を部下と情報共有するなど、室内での意思疎通を図るなかで、各人が目標を持って業務に携われるよう努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	室の懸案事項について室内で情報共有を図るとともに、相談しやすい、風通しの良い職場の実現に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	業務ごとに担当者が見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

旧上下水道局

▶平成28～29年度の取組実績評価（局評価）

達 成 度					
取組項目数	6	件	効果額		令和元年度取組項目数
【取組状況】			目標効果額	16,307	千円 ※達成
実施済	5	件	実績効果額	72,926	千円 ※おおむね達成
着手済	1	件	歳 入		千円 ある程度達成
未着手		件	歳 出	72,926	千円 やや下回っている
中止		件			千円 かなり下回っている
未到来		件	計	72,926	千円 全くできなかった
【実施・着手率】	100	%	【達成率】	447.2	%
					【達成率】※の割合 %

▶令和元年度において特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
—	—	—
—	—	—

▶令和元年度における各実施項目の実績概要について

実績概要	
成 果	—
課 題	—
今 後 の 取 組	—

3 プロジェクト進行管理制

項番	1	分類番号	1 - (1) (コンプライアンスの徹底)	リーダー	総務局 コンプライアンス推進課
主な関係課	全課				
実施項目	コンプライアンスの徹底				

1. 実施内容(計画策定時)

「新コンプライアンス推進施策」に基づき、推進チームとして引き続き、個々の職員のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、不祥事が発生しない職場環境づくりを推進するなど、事務局（コンプライアンス推進課）と連携し、コンプライアンスの徹底に取り組みます。

2. 取組実績

【成 果】	「新コンプライアンス推進施策」の取組を継続し、対象者の職階や職種に応じた効果的な研修の実施等に努めるとともに、各職場において適切なリスクマネジメントが促進されるよう、リスクマネジメント体制の強化を中心とする「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」を策定し、次年度から実施することとしました。
【課 題】	職員一人一人のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、各職場において、日常的なリスク管理を徹底するなど、組織的な対応を行う必要があります。
【今後の取組】	策定した「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」の効果的な実施に努め、リスクへの対応を適切に行える仕組みを定着させることを中心とする各種取組について、毎年度実施する「コンプライアンスアンケート」の結果等も踏まえ、必要な見直しを図りながら着実に推進します。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	2	分類番号	2 - (1) (自主財源の確保)	リーダー	財政局 税務部 納税課 (債権回収室)
主な関係課	国保・高齢者医療課、介護保険課、こども園運営課、こども家庭課、みんなの病院事務局医事課、市営住宅課、出納室				
実施項目	債権管理の適正化				

1. 実施内容〔計画策定時〕

市民の貴重な財産である債権の管理に万全を期すため、計画的で適正な債権管理の取組を進めます。 ＜主な検討・実施内容＞ ①債権管理・回収マニュアル等の改定 ②電話催告や臨戸訪問等の取扱い ③納付環境の整備 ④債権回収ノウハウの共有

2. 取組実績

【成 果】	令和元年度債権管理の適正化プロジェクトチーム会議において、令和2年4月1日施行予定の民法改正について説明するとともに、民法改正に伴う「高松市債権管理・回収マニュアル」の改訂について協議しました。協議結果を踏まえた上で同マニュアルを改訂し、令和2年4月に「高松市債権管理・回収マニュアル（第3版）」をインフォギャラリーに掲載しました。 また、各課の取組状況や課題等についての意見交換を行い、債権管理・回収に関する情報共有を図ることができました。
【課 題】	議題でもあった令和2年4月1日施行の民法改正に向け、各課債権に即した事務の修正や疑問点等について、準備や検討を進めていく上での質問や不安の声が寄せられました。 それらに対しては、民法改正研修会の開催や、随時の相談・助言などの対応を引き続き行っていくことを申し合わせました。
【今後の取組】	債権管理・回収マニュアル等の改定や債権回収ノウハウの共有など、債権管理の適正化の取組については当初の目的を達成したことから、第8次高松市行財政改革計画には引き継がず、令和元年度末をもってプロジェクトチームを解散しました。
【目標達成度】 (6段階評価)	5 (達成)

項番	3	分類番号	2 - (2) (ファシリティマネジメントの推進)	リーダー	財政局 財産経営課（ファシリティマネジメント推進室）
主な関係課	公共・公用施設等の建築物を保有・維持管理している全課（ただし、国の指針に基づき進められている土木・インフラ系施設部門等は除く）、政策課、財政課、建築課				
実施項目	ファシリティマネジメントの推進				

1. 実施内容〔計画策定時〕

本市の今後の財政状況から、現在ある全ての公共施設を維持することはできないため、思い切った削減が必要となっています。平成27年度に策定した「高松市公共施設有効活用・再配置等方針」に基づき、公共施設の複合化や統廃合、規模の見直し等を行うとともに、老朽化した施設は廃止、民間の運営が適当な施設は売却するなど、公共施設の総量削減や配置の見直しを進めます。そのための、個別施設の方向性を定める、「公共施設再編整備計画」の策定に取り組みます。

【取組推進に当たっての留意事項】

- 施設利用者や地域住民への十分な説明
- 多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画などの関連計画との整合
- 施設ごとの中長期保全計画に基づく、LCCの効率化
- 継続使用する施設のうち、必要な施設は長寿命化対策（予防的な保全など）を実施

2. 取組実績

【成 果】	平成30年10月に策定した「高松市公共施設再編整備計画」の進捗管理に努め、廃止等の方向性を定めた施設のうち、以下の5施設において再編整備実施計画を策定しました。 ・地域包括支援センター一宮 ・仏生山出張所 ・山田支所 ・高松市川島コミュニティセンター ・元川島中津公園内建物
【課 題】	再編整備実施計画未策定の施設の所管課においては、施設の今後の利活用検討や関係者との調整に時間を要しています。
【今後の取組】	再編整備実施計画の策定を進め、公共施設の総量の適正化に努めるとともに、「高松市公共施設再編整備計画」の見直し検討に着手します。
【目標達成度】 (6段階評価)	4（おおむね達成）

項番	4	分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	リーダー	健康福祉局 国保・高齢者医療課
主な関係課	長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、健康づくり推進課、政策課、コミュニティ推進課、産業振興課				
実施項目	保険給付費適正化				

1. 実施内容〔計画策定時〕

増大する国民健康保険、介護保険の保険給付費の適正化について、関係課が連携を強化し、効率的・効果的に取り組むため、引き続きプロジェクトチームを設置し、次の事務・事業を行います。

- ①保険給付費の実態に関する分析
- ②保険給付費の適正化に関する計画の見直し及び検証
- ③保険給付費の適正化に関する周知啓発等

2. 取組実績

【成 果】	・平成30年3月、高松市第2期データヘルス計画を策定し、前期計画で中心的に取り組んできた糖尿病予防や介護予防、慢性腎臓病予防対策等を更に推進しています。 ・保険給付費適正化プロジェクトチーム担当者会にてデータヘルス計画の単年度評価を行い、平成30年度は、29年度と比較し、評価4以上が50%から62%に増加しました。 ・香川県と合同で行った医療費分析事業により、本市の介護と医療の給付費増加の要因を分析することができました。 ・保険給付費適正化に関する周知啓発では、延べ168回（対象者：延べ6,231人）実施し、生活習慣病の予防や介護予防等への意識を高め、普段の生活の中での健康づくりへの取組につなげています。
【課 題】	・より効果的な取組にするため、2020年度のデータヘルス計画の中間評価において、高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施に関する検討が必要です。 ・データヘルス計画を適正に評価するために、各年度ごとのデータの集約や分析ができる体制を構築する必要があります。
【今後の取組】	・高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施に関する分析を行い、必要な事業をデータヘルス計画に登載し、実施します。 ・香川県の医療費分析及びKDB等を活用し、より効果的な取組になるよう事業評価を行い、データヘルス計画の中間評価を実施します。
【目標達成度】 (6段階評価)	4（おおむね達成）

項番	5	分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	リーダー	総務局 人事課 (行政改革推進室)
主な関係課	情報政策課、コンプライアンス推進課、市民課、人事課、危機管理課、納税課、市民税課、資産税課、健康福祉総務課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉課、長寿福祉課、介護保険課、子育て支援課、こども家庭課、こども園運営課、保健予防課、健康づくり推進課、市営住宅課、消防局総務課、学校教育課、保健体育課				
実施項目	社会保障・税番号制度の推進				

1. 実施内容〔計画策定時〕

社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進するために、次に掲げる事項について検討します。

- ①番号制度に関連するシステム改修に関すること。
- ②個人番号の独自利用に関すること。
- ③個人番号通知カード及び個人番号カードの交付に関すること。
- ④特定個人情報保護評価に関すること。
- ⑤例規の整備に関すること。
- ⑥情報セキュリティ対策に関すること。
- ⑦その他、番号制度に関すること。

2. 取組実績

【成 果】	●プロジェクトチーム会議を開催しました。 ●地域経済応援ポイント（高松市ポイント）実証事業を継続しました。 ●たかまつ市場フェスタ、税務署と連携した申告会場でのカード取得キャンペーン等、普及促進キャンペーンを実施しました。 ●専従の人員の配置により、マイナンバーカードの円滑な交付を継続しました。 ●タブレット端末を使用し、写真撮影及びインターネット申請を行うサービスを継続しました。 ●令和元年6月のデータ標準レイアウト改版に伴う副本登録を行いました。 ●マイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施（マイナポイント）に向けたマイキーID設定支援を行いました。
【課 題】	●マイナンバーカードの普及促進。 ●令和2年6月のデータ標準レイアウト改版に係る副本登録、試行運用及び本格運用への対応。 ●通知カード廃止、交付済通知カードの記載事項変更等の手続き廃止への対応。 ●マイナンバーカード電子証明書更新事務への対応。 ●マイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施（マイナポイント）。 ●カード利活用策の検討。
【今後の取組】	●マイナンバーカードの普及を図るため、利便性のPR等効果的な広報を行います。 ●マイナンバーカード取得キャンペーンを実施します。 ●国の動向を注視し、マイナンバー制度を更に効果的に推進するため、市民の利便性向上に向けた独自利用事務、利活用策の検討等を行います。 ●マイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施を契機に、カードの普及を図るための効果的な広報やキャンペーン等の活動を行います。
【目標達成度】 (6段階評価)	4（おおむね達成）

【平成28年度追加項目】

項番	6	分類番号	4 - (3) (市政の見える化)	リーダー	環境局 環境総務課
主な関係課	環境総務課、情報政策課、政策課、納税課、健康づくり推進課、産業振興課、都市計画課、生涯学習課、みんなの病院事務局総務課				
実施項目	本市公式ホームページの再構築に向けた基本的事項の検討				

1. 実施内容

高松市公式ホームページを再構築し、利用者にとって、より分かりやすく、親しみやすいものとするための基本的事項を検討します。

2. 活動休止・廃止理由

平成30年3月にホームページを全面リニューアルしました。平成30年度において、SNS（フェイスブック、ツイッター）連携についての庁内研修、及び、災害情報等の即時発信への対応を完了したため、ホームページの再構築を完了したものとして、令和元年度をもってプロジェクトチームを廃止しました。

【平成29年度追加項目】

項番	7	分類番号	4 - (1) (市民の市政参画意識の醸成と協働の取組)	リーダー	市民政策局 政策課
主な関係課	政策課、コミュニティ推進課、まちづくり企画課、障がい福祉課、長寿福祉課、長寿福祉課地域包括ケア推進室、子育て支援課、健康づくり推進課、産業振興課、市営住宅課、生涯学習課				
実施項目	高松版生涯活躍のまち構想検討				

1. 実施内容

移住者を含めた地域住民が、多世代と交流し、健康で活動的な生活を送れる地域づくりを進めるとともに、雇用創出や人口減少の抑制を目指し、「高松版生涯活躍のまち構想（仮称）」の策定について検討・協議します。

2. 活動休止・廃止理由

平成31年3月に、「高松版生涯活躍のまち構想」を策定したため、プロジェクトを廃止しました。

【平成29年度追加項目】

項番	8	分類番号	4 - (1) (市民の市政参画意識の醸成と 協働の取組)	リーダー	健康福祉局 健康福祉総務課
主な関係課	コミュニティ推進課、危機管理課、障がい福祉課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、健康づくり推進課、消防局予防課、消防防災課				
実施項目	「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」改訂				

1. 実施内容

大規模災害での教訓及び課題や、内閣府作成の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」を踏まえ、「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」を改訂するとともに、その内容を具体化した要領、マニュアル等を作成します。

2. 取組実績

【成 果】	平成20年10月に策定以降、見直されていなかった「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」を改訂するため、平成29年度中に計5回の会議を重ね、より現状に合った地域の支援体制の充実を図るための手引書に改訂しました。
【課 題】	手引書の内容を具体化した要領、マニュアル等を策定する必要があり、平成29年度中に検討を行いました。一部調整を要する事項があるとともに、災害対策本部設置後の要配慮支援班の体制整備を検討する必要があるため、まだ完成に至っていません。
【今後の取組】	プロジェクトチームで更に検討を重ね、要領・マニュアル等の作成に取り組みます。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

【平成29年度追加項目】

項番	9	分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	リーダー	健康福祉局 子育て支援課
主な関係課	子育て支援課、こども女性相談課、生活福祉課、こども家庭課、こども園総務課、こども園運営課、健康づくり推進課、産業振興課、学校教育課				
実施項目	子供の貧困対策推進				

1. 実施内容

高松市子どもの貧困対策推進計画を策定するとともに、子どもの貧困対策を総合的に推進するための連携を図ります。

2. 取組実績

【成 果】	高松市子どもの貧困対策推進計画の進捗管理を行うとともに、子どもの貧困対策を総合的に推進するための連携を図りました。
【課 題】	子どもの貧困対策がより実情に即したものとなるよう、関係部局の連携を図る必要があります。
【今後の取組】	子どもの貧困対策を総合的に推進するために、より一層、関係部局の連携を図ります。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

【平成30年度追加項目】

項番	10	分類番号	4－（１） （市民の市政参画意識の醸成と 協働の取組）	リーダー	市民政策局 コミュニティ推進課
主な関係課	コミュニティ推進課、危機管理課、健康福祉総務課				
実施項目	自治会の在り方等を検討				

1. 実施内容

自治会加入率減少の状況を打開するため、自治会の原点に返って見直しを行い、加入・未加入者にとって魅力ある自治会となるよう地域・行政ともに取組み、今後の自治会の再生を目指します。

2. 取組実績

【成 果】	平成30年5月に地域で設置された「自治会の在り方等検討プロジェクトチーム」に市も参画し、自治会の抜本的な見直しを行うための議論が重ねられ、令和元年9月には、魅力ある自治会に近づくための自治会活動への提案や事例の紹介を始め、自治会を担う人材の育成や地域ニーズに対応した活動への支援など、地域・行政双方で取り組むべき方策など最終報告書として取りまとめられました。
【課 題】	今回は、自治会について検討を行いました。自治会と行政との関わりや、地域コミュニティ協議会との関わりなど他の組織との関わりについても整理していく必要があります。
【今後の取組】	自治会の在り方等検討プロジェクトチームの最終報告書を踏まえて、今後は、地域と行政が共に、自治会の再生及び活性化に向けて、自治会活動や人材の育成や自治会活動のPRなど、新たな取組みの検討・実施を行います。
【目標達成度】 （6段階評価）	4（おおむね達成）

【平成30年度追加項目】

項番	11	分類番号	4－（１） （市民の市政参画意識の醸成と 協働の取組）	リーダー	健康福祉局 健康福祉総務課 地域共生社会推進室
主な関係課	政策課、政策課移住・定住促進室、コミュニティ推進課、地域振興課、牟礼総合センター、香川総合センター、勝賀総合センター、国分寺総合センター、くらし安全安心課、市民課、人権啓発課、人事課、人事課行政改革推進室、税務部、健康福祉総務課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、子育て支援課、こども女性相談課、こども家庭課、こども園総務課、こども園運営課、健康づくり推進課、産業振興課、スポーツ振興課、都市計画課住宅・まちづくり推進室、交通政策課、消防局総務課、学校教育課、生涯学習課				
実施項目	地域共生社会の構築				

1. 実施内容

社会福祉法（昭和26年法律第45号）第106条の3第1項の規定に基づき、地域共生社会の実現に向けて、地域の福祉に係る生活の課題を把握し、当該課題の解決に資する支援を包括的に行う体制について検討及び協議を行います。

2. 取組実績

【成 果】	まると福祉相談員を、牟礼・香川総合センターエリアに拡充して配置したほか、勝賀総合センターに、つながる福祉相談窓口を開設することができました。さらに、まると福祉相談員や、つながる福祉相談窓口に寄せられた相談を、内容等に応じた適切な専門機関や、民間団体等のサービスにつなげるため、相談支援体制のネットワーク構築にも取り組みました。
【課 題】	福祉施策の縦割りの壁を超え、包括的な形で、市民・行政・関係機関が助け合う人的ネットワークを確立して、高松型地域共生社会の構築に向けての課題解決に取り組んでいく必要があります。
【今後の取組】	プロジェクトチームで更に検討を重ね、地域共生社会の実現に向けて取り組みます。
【目標達成度】 （6段階評価）	4（おおむね達成）

【平成30年度追加項目】

項番	12	分類番号	2－（1） （自主財源の確保）	リーダー	産業経済部長
主な関係課	産業経済部長、政策課、財産経営課、健康福祉総務課、産業振興課、観光交流課、スポーツ振興課、競輪場事業課、都市計画課				
実施項目	高松競輪場の有効活用検討				

1. 実施内容

競輪事業の効率的運営

2. 取組実績

【成 果】	高松競輪場のソフト面での魅力向上対策や中長期的な利活用等について整理を行い、「高松競輪場の有効活用検討プロジェクトチーム」の報告書にとりまとめ、令和2年3月24日に市長、副市長に報告しました。
【課 題】	長期的な利活用に向けた検討については、「建築に係る用途制限」と「市のまちづくり計画との整合」の問題を解決する必要があります。
【今後の取組】	報告書は、高松競輪場施設改修基本設計等に、考え方を反映させるとともに、西駐車場等で計画されているイベント等の検討に当たって、参考とする予定です。 なお、本市競輪事業をとりまく環境は大きく変化していることから、当分の間、プロジェクトチームを休止し、状況を見極めた上で存続の可否を判断します。
【目標達成度】 （6段階評価）	5（達成）

【令和元年度追加項目】

項番	13	分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	リーダー	総務局 人事課 (行政改革推進室)
主な関係課	コミュニティ推進課、地域振興課、牟礼総合センター、香川総合センター、勝賀総合センター、国分寺総合センター、くらし安全安心課、市民やすらぎ課、市民課、人事課、危機管理課、情報政策課 ICT 推進室、広聴広報課、財政課、納税課、健康福祉総務課、健康福祉総務課地域共生社会推進室、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、こども家庭課、健康づくり推進課、環境保全推進課、環境指導課適正処理対策室、農林水産課、土地改良課、道路管理課、河港課、公園緑地課、消防局総務課、学校教育課				
実施項目	地域行政組織再編計画の推進				

1. 実施内容

高松市地域行政組織再編計画の考え方を踏まえ、地域行政組織の現状と課題を検証した上で、市民ニーズに的確に応えられる効率的な行政組織の構築を更に推進するための検討及び協議を、関係課と連携をとりながら実施していきます。

2. 取組実績

【成 果】	●プロジェクトチーム会議を開催しました。 ●地域行政組織再編計画の実現に向けた現状課題やスケジュールについて検討しました。
【課 題】	●業務及び人員配置の検討と円滑な体制移行（激変緩和措置の解消） ●地域との役割分担の見直し（協働） ●総合センターへの技術職員の配置 ●ICTや民間（地域コミュニティ協議会を含む）を活用した行政サービスの提供
【今後の取組】	●総合センター、支所、出張所で取り扱う業務を分析・検証し、新たに取り扱うべき業務や廃止する業務を検討します。 ●効率的な職員派遣や総合センターにふさわしい人材配置・育成について検討します。 ●総合センター、支所、出張所における事務効率の向上のため、ICTを活用した取組を検討します。 ●地域との役割分担の見直しなど、協働を進めていくための方針を検討します。 ●コミュニティ協議会への事務委託について検討します。
【目標達成度】 (6段階評価)	4（おおむね達成）

4 【参考】外部評価等による事業の見直し状況

▶平成 28 年度外部評価

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	R 元年度 当初予算	R 2 年度 当初予算
1	公衆便所管理等事業	環境局 環境施設対策課	改善	改善	13,947	12,946 (▲1,001)
2	コミュニティセンター 講座等事業	教育局 生涯学習課 生涯学習センター	改善	改善	19,324	17,677 (▲1,647)
3	歴史資料館管理運営事業 (ほか関連 4 事業)	創造都市推進局 文化財課	改善	改善	73,030	78,196 (5,166)
4	図書館運営事業 (ほか関連 1 事業)	教育局 中央図書館	改善	改善	374,503	394,404 (19,901)
5	教育資金支援事業	教育局 学校教育課	改善	改善	27,074	27,615 (541)

▶平成 29 年度外部評価

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	R 元年度 当初予算	R 2 年度 当初予算
1	男女共同参画社会推進事業	市民政策局 男女共同参画・協働 推進課	改善	改善	1,168	1,165 (▲3)
3	高齢者福祉通信機器貸与 等事業	健康福祉局 長寿福祉課	縮小	縮小	1,629	1,481 (▲148)
4	高齢者住宅改造助成事業	健康福祉局 長寿福祉課	改善	改善	4,920	0 (▲4,920)
5	市民農園整備事業	教育局 学校教育課	改善	改善	1,536	86 (▲1,450)
6	観光ボランティアガイド 育成事業	創造都市推進局 観光交流課	改善	改善	505	469 (▲36)
7	観光団体育成事業	創造都市推進局 観光交流課	改善	改善	2,211	2,049 (▲162)

※No. 2 は、平成 30 年度に中止となった交通事故相談事業。

▶平成30年度外部評価

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	R元年度 当初予算	R2年度 当初予算
1	中小企業経営講習会等事業	創造都市推進局 産業振興課	改善	改善	1,635	1,635
2	高齢者福祉タクシー助成事業	健康福祉局 長寿福祉課	改善	改善	14,513	10,252 (▲4,261)
3	違法駐車防止対策事業	都市整備局 交通政策課	縮小	縮小	0	0

▶平成30年度追加事業

No.	事業名	担当局 (担当所属)	R元年度 当初予算	R2年度 当初予算
1	高松市長杯室内陸上競技大会負担金の見直し	創造都市推進局 スポーツ振興課	150	150

▶令和元年度外部評価

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	R元年度 当初予算	R2年度 当初予算
1	災害援護事業	健康福祉局 健康福祉総務課	改善	改善	4,580	4,158 (▲422)

